

# マイナス金利と日本の財政

## —わたしたちの生活との関連—



**原田 喜美枝**

HARADA Kimie

中央大学商学部教授

2017年

4月8日(土)

11:00 ~ 12:00 (10:30開場)

中央大学駿河台記念館  
281号室 (200名入場可)

事前予約・受講料不要 / 当日直接ご来場ください  
※ 満席の場合は立ち見となる場合があります

### 講師紹介

2001年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。中央大学専門職大学院准教授などを経て2012年より現職。金融庁金融審議会委員、財務省財政制度等審議会財政投融资分科会専門委員、日本証券業協会自主規制会議公益委員

### 講演内容

日本は長い間デフレの状態が続いています。インフレに向けて様々な金融政策が実施されてきましたが、デフレからの脱却は未だ難しい状況です。このような状況で2016年1月にマイナス金利政策が導入されました。預金金利や住宅ローン金利など金利は私たちの生活に身近なものです。マイナス金利の意味も含めて一般の人には馴染みの薄いことのように思えます。この講演では、生活に関連する事柄を中心として、マイナス金利について解説します。金利と国の財政はあまり関連性のないことのように思えるかもしれませんが、今の日本では深く関係しています。この点についても考えます。

1. デフレとは、デフレの何がいけないのか
2. 非伝統的金融政策とは何か
3. マイナス金利とは預金にかかる手数料
4. 日本政府の債務と返済原資
5. 金利と債務返済の関係
6. 将来世代のために大人が考えるべきこと